

## 2004年2月の東北地方の天候

### 【2月の特徴】

- ・高温
- ・23日の強い冬型の気圧配置による暴風

#### (1)概況

上旬は冬型の気圧配置が続き、気温は平年並だった。しかし、中旬以降は低気圧が数日の周期で東北地方を通過し、通過後は冬型の気圧配置となったが長続きしなかった。また、低気圧が日本海を通過することが多く、低気圧に向って暖かい空気が流れこんだため、高温となった。なお、15～16日や23日には冬型の気圧配置が一時的に強まって、暴風等による被害が発生した。

月平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。月降雪量は東北日本海側で少なく(平年比67%)、東北太平洋側でかなり少ない(平年比30%)。

#### (2)天候経過

上旬： 1日は高気圧に覆われ概ね晴れたが、2～3日は低気圧や前線が東北地方を通過し各地で雨や雪となった。その後は冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は雪、東北太平洋側は概ね晴れた。特に、6～7日は上空に強い寒気が入って、東北太平洋側でも雪となる所があった。

平均気温は平年並。降水量は多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

中旬： 日本海を進む低気圧や気圧の谷が11日、14日、17日、19日と数日の周期で通過し、東北日本海側を中心に雨や雪となった。通過後は冬型の気圧配置となったが長続きせず、移動性高気圧に覆われて晴れる日もあった。なお、15～16日にかけては強い冬型の気圧配置となって、強風により交通機関等に影響がでた。

平均気温は高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。

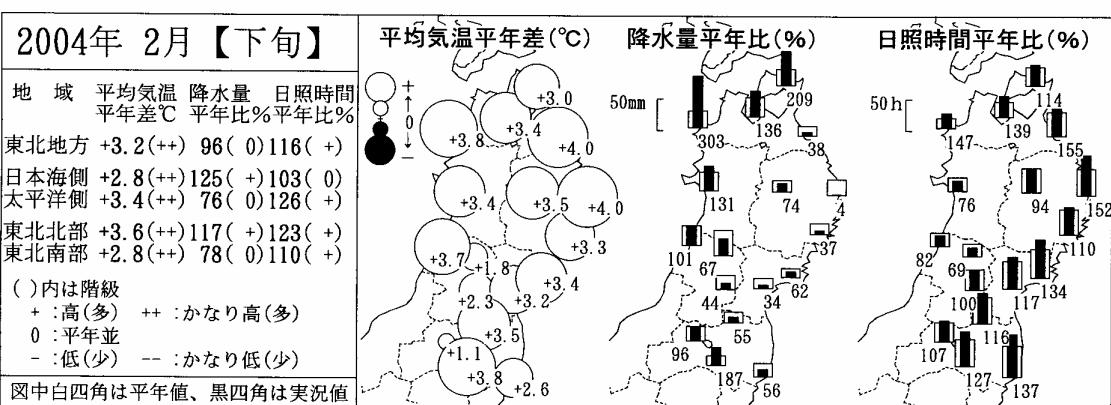
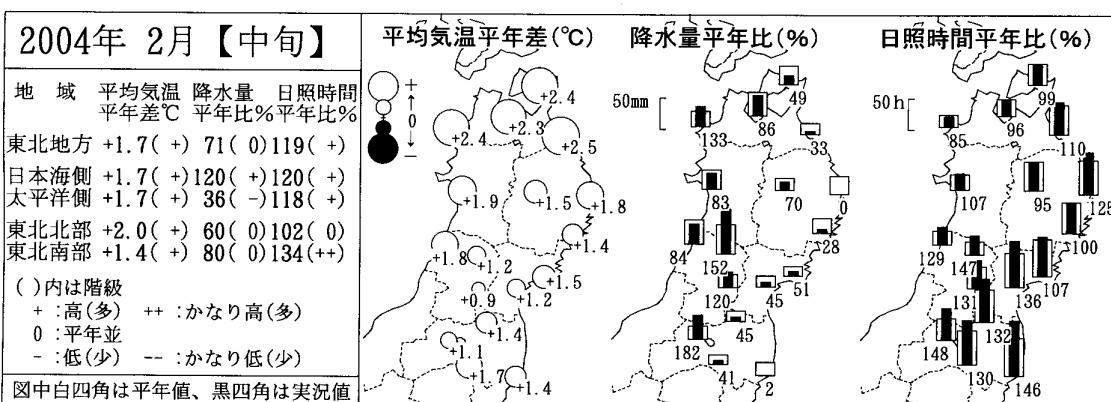
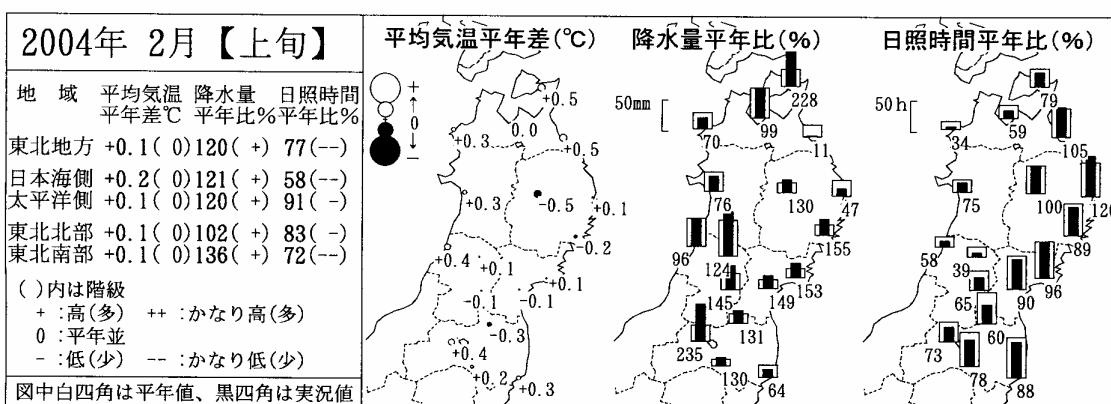
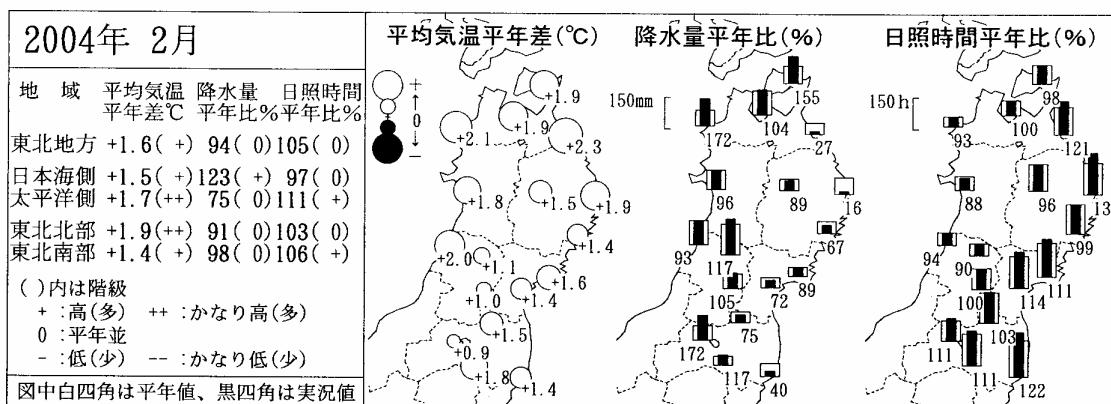
下旬： 21～22日は移動性高気圧に覆われて概ね晴れた。その後は低気圧や寒冷前線が数日の周期で東北地方を通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。特に23日は冬型の気圧配置が強まり、暴風により青森県で1名が死亡した他、東北各地で被害が発生した。また22日は日本海の低気圧に向かって暖気が流入したため各地で高温となり、八戸、秋田、酒田、福島では2月としての日最高気温の極値を更新した。28～29日は、移動性高気圧が日本の南海上を東に進み、北の低気圧に向かって暖かい南風が流入したため各地で気温が高くなった。

平均気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。  
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

### (3) 2004年2月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

#### (4) 月気候表(2004年2月)

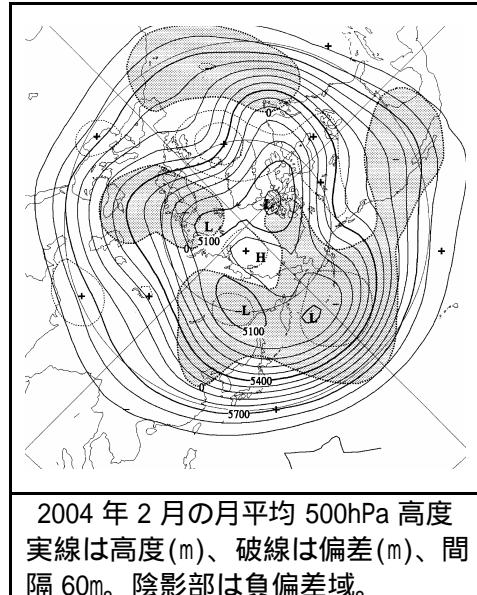
地 点	月平均気温(平年差) 階級	月降水量(平年比) mm % 階級	月間日照時間(平年比) h % 階級	月最深積雪(平年値) cm cm 階級	月降雪量(平年値) cm cm 階級
青 森	0.8 (+1.9) +*	121.0 (104) 0	72.9 (100) 0	79 (111) -	112 (213) -
深 浦	1.9 (+2.1) +*	133.0 (172) +*	45.3 (93) 0	41 (42) 0	21 (68) -*
む つ	0.4 (+1.9) +*	131.5 (155) +	89.7 (98) 0	79 (66) +	--- (---) ---
八 戸	1.4 (+2.3) +*	14.0 (27) -*	160.1 (121) +*	1 (28) -*	3 (50) -*
秋 田	2.0 (+1.8) +*	88.5 (96) 0	57.6 (88) 0	21 (37) -	27 (78) -*
盛 岡	-0.1 (+1.5) +	49.0 (89) 0	124.1 (96) 0	44 (33) +	43 (55) 0
大 船 渡	2.3 (+1.4) +	39.0 (67) 0	140.5 (99) 0	3 (9) -	5 (18) -
宮 古	2.2 (+1.9) +*	13.0 (16) -*	198.0 (131) +*	0 (29) -*	0 (45) -*
仙 台	3.1 (+1.4) +	35.0 (72) 0	173.8 (114) +*	7 (13) -	11 (25) -
石 卷	2.5 (+1.6) +	39.5 (89) 0	180.7 (111) +	21 (13) +	--- (---) ---
山 形	0.8 (+1.0) +	74.0 (105) 0	99.3 (100) 0	70 (46) +	84 (93) 0
新 庄	0.1 (+1.1) +	170.5 (117) +	50.4 (90) 0	107 (123) 0	--- (---) ---
酒 田	3.4 (+2.0) +*	107.5 (93) 0	56.2 (94) 0	26 (30) 0	44 (66) 0
福 島	3.3 (+1.5) +	37.5 (75) 0	148.1 (103) 0	12 (18) -	24 (42) -
若 松	0.5 (+0.9) +	121.0 (172) +*	107.9 (111) 0	65 (46) +	139 (113) 0
白 河	2.3 (+1.8) +*	48.5 (117) +	168.6 (111) +	9 (14) 0	--- (---) ---
小名浜	5.1 (+1.4) +*	25.0 (40) -	213.9 (122) +*	(4) -*	0 (7) -

観測値欄の記号は、×：欠測 )：欠測日を含む -：現象なし ---：観測をしていない  
階級は +：高い(多い) 0：平年並 -：低い(少ない) \*は「かなり」を表す

#### (5) 2004年2月の循環場の特徴

500hPa 高度を見ると、極渦が分裂して寒気放出パターンとなり、極東域ではシベリアや日付変更線付近を中心に負偏差が広がった。一方、中国大陸から日本付近にかけては広く正偏差に覆われた。旬ごとの変動が顕著で、上旬は渤海湾付近を中心に日本付近まで広く負偏差となつたが、中・下旬は一転して中国大陸から日本付近にかけて強い正偏差に覆われた。

上旬は、強い寒気が西回りで南下し、東北地方は冬型の気圧配置が続いて気温は平年並となった。しかし、中・下旬は低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となつたが長続きしなかつた。また、低気圧が日本海を通過することが多く、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込み、気温は高くなつた。



注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971~2000年の30年間ににおいて出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

## ( 6 ) 月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪、月降雪量の3位まで。ただし、新庄・むつ・白河の月最深積雪は、統計期間が短いため1位に該当した場合のみ示す。石巻の月最深積雪は、統計期間が短いため、極値・順位を求めない。新庄・むつ・石巻・白河の月降雪量は観測していない。)

### 月平均気温 高い方からの極値・順位更新

順位	地点名	気温( )	これまでの最高( )(年)	統計開始年	平年値( )
2位	八戸	1.4	2.0(1990)	1937	- 0.9

### 月降水量 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最大(mm)(年)	統計開始年	平年値(mm)
2位	白河	48.5)	50.0(1998)	1994	41.4

### 月間日照時間 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最大(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
1位	小名浜	213.9	210.0(1938)	1911	175.0

### 日最大風速 大きい方からの極値・順位更新

順位	地点名	風速 m/s(風向)	起日	これまでの最大(m/s) 風向 (年/日)	統計開始年
2位	青森	17.0(WNW)	23	18.0 W (2001/03)	1990
3位	秋田	20.4(SW )	23	21.0 SW (1999/13)	1990
3位	大船渡	13.1(NW )	15	18.8 N (1991/16)	1991
3位	石巻	18.5(W )	23	20.0 WNW(1994/22)	1990

### 日最大瞬間風速 大きい方からの極値・順位更新

順位	地点名	風速 m/s(風向)	起日	これまでの最大(m/s) 風向 (年/日)	統計開始年
1位	青森	32.2(WNW)	23	31.7 WNW(2001/03)	1990
1位	宮古	33.5(W )	23	32.1 N (1991/16)	1941
2位	八戸	35.3(W )	23	41.3 SW (1955/20)	1951
2位	秋田	33.8(SW )	23	35.7 WSW(1991/21)	1990
2位	石巻	33.0(W )	23	33.6 WNW(1994/22)	1990
3位	大船渡	33.4(NW )	15	38.1 NW (1994/22)	1991
3位	若松	25.4(W )	15	29.4 ESE(1991/16)	1954
3位	山形	21.2(WSW)	26	22.3 W (1962/02)	1941

### 日最高気温 高い方からの極値・順位更新

順位	地点名	気温( )	起日	これまでの最高( )(年/日)	統計開始年
1位	八戸	18.6	22	15.8(1979/21)	1937
1位	秋田	17.5	22	14.8(1979/21)	1886
1位	酒田	21.6	22	17.1(1979/21)	1937
1位	福島	21.3	22	20.4(1979/21)	1928
3位	深浦	14.8	22	19.9(1954/27)	1940